



—平和を考える— 戦争の歴史をたどるMAP

戦争遺跡等は、地下壕（ごう）や空襲の跡、戦没者慰霊碑といった戦争関係の建造物や痕跡など、戦争の実態や悲惨さを伝える貴重な資料です。市内にある戦争遺跡等を通じて、平和について考えてみませんか。

（このマップは、核兵器廃絶平和都市宣言35周年を記念し制作しました。）

富士山かぐや姫ミュージアム 歴史民俗資料館「戦争とくらし」コーナー



●歴史民俗資料館には「戦争とくらし」コーナーがあり、写真パネルや貴重な実物資料を展示しています。観覧無料。
開館時間：(4~10月)9:00~17:00/(11~3月)9:00~16:30
休館日：月曜日(祝日は開館)・祝日の翌日・年末年始
所在地：富士市伝法86-7 電話：0545-21-3380



●戦争遺跡等を訪れる際はご注意ください！
戦争遺跡等の中には、私有地または悪路を通らなければ行けない場所があります。私有地への無断侵入や違法駐車などの迷惑行為は、絶対にしないでください。また悪路を通行する際は、事故に気をつけてください。
問合せ/シティプロモーション課
電話：55-2736 FAX：51-1456 Eメール：so-citypro@div.city.fuji.shizuoka.jp

① 愛宕山平和祈念碑

本土決戦に備え、昭和20年(1945年)4月から7月にかけて陸軍地上部隊約1,000名が高射砲陣地として地下壕を建設しました。駿河湾から富士川沿いに北上する米軍を高射砲で撃つて阻止する計画でしたが、終戦直前に建設作業は中止されました。



戦後50周年を記念し、平成7年(1995年)に「平和祈念碑」が建立されました。

戦後50周年を記念し、平成7年(1995年)に「平和祈念碑」が建立されました。



② 燃料庫の地下壕



富士飛行場の建設に併せて、航空燃料の油を保管する倉庫として岩本山西麓に掘った地下壕です。



③ 開拓記念碑



この辺りは、昭和19年(1944年)から陸軍富士飛行場用地として使用されていました。戦後、開拓事業として元の土地提供者が中心となって入植し、10年余の歳月をかけ、その努力により元の緑の田畑に復旧しました。

この碑は、開拓事業10周年を記念して、元富士開拓農業協同組合が建立。令和2年(2020年)、現在地に移設されました。

